

### 平山郁夫さんの 作品伊那で展示

収益の一部は寄付へ  
生前、伊那市高遠町と縁があり、市名誉市民でもある画家平山郁夫さんの作品展が14日、市内のかんてんばばホールで始まった。18日まで、複製品や他の画家の作品など計70点を展示・販売している。美術作品展を手掛ける企業「ほるぷエアアンドアイ」(大阪府)主催。会場には「パルミラ遺跡を行く朝」「流沙浄



シルクロードを描いた作品などが並ぶ会場  
土愛)など、シルクロードや仏教がテーマの有名作品が並べられた。井弘忠さん(72)「南箕輪村は「本物の作品も見ることがあるけれど、それに劣らない」と話していた。収益の一部は東日本大震災で被災した子どもを支援する日本ユネスコ協会連盟に寄付する。同社の市原清人さん(61)は「ユネスコ親善大使も務めた平山先生が絵に込めた平和への祈りやロマンを感じてほしい」と話している。午前9時半〜午後5時。入場無料。

## 平和祈り描いた40点

### かんてんばばホール 平山郁夫の作品展

日本画家、平山郁夫(1930~2009年)の作品展「シルクロード・仏教伝来・平和への祈り」が伊那市西春近のかんてんばばホールで開かれている。平和への祈りをテーマに描き続けた代表作品の版画や巧藝画など約40点を展示販売している。18日まで。作品展はチャリティー絵画展の企画・運営をしている



「ほるぷエアアンドアイ」(大阪府)が主催。今回の収益の

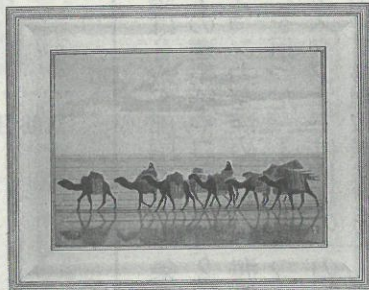
特別企画として日本画壇を代表する横山大観、東山魁

夜で描き分け、朝日のオレンジと「平山ブルー」と言われる青く染まった夜の描写が目玉を引く。

かんてんばばホールで開かれている平山郁夫の作品展  
↑  
一部は東日本大震災子ども支援募金に充てられる。今展ではラクダを連ねた行商隊のキャラバンが遺跡を遠方に眺めながら歩く「パルミラ遺跡を行く」など代表作が並ぶ。同じ題材を朝と

### \* ギャラリー \*

◆東日本大震災子ども支援チャリティー シルクロード・仏教伝来・平和への祈り 平山郁夫作品展 18日まで、伊那市のかんてんばばホール。「パルミラ遺跡を行く」などの代表作約40点と各種パネルを展示。無料。ほるぷエアアンドアイ072・805・0595。



「平山郁夫作品展」より

2017年(平成29年) 12月15日 金曜日

長野日報